別海町の昨年度の寄付額5539万円。11月末は1892万円で前年同期の635万円を大幅に上回事業者を増やし、計20。また、ポータルサイ

滑に

明確化

O法人南知床・ヒグマ根センター（標津町）の準靖理事長は「現場対応導権を握る人がはっきないと、足跡が踏み荒これるなどして加害個体識別などに支障が生じと指摘する。

ニュアルは、18年3月が施行した「ヒグマ人事故発生時の対応方針」地域版として、3町や環、林野庁、道などでつ知床ヒグマ対策連絡会11月30日、3町それぞものを策定した。これによると、人身事故時に必要と判断した場各町が関係機関の担当を集めて対策本部を設情報の集約や警察、猟への出動要請などを担また、警察や消防、知団（斜里町）、NPO南知床・ヒグマ情報セーなど関係機関の役割についても明記した。事故発生時の警察の役割ついては「事故現場の保状況の記録」「現場封などの緊急措置を行う」た。発砲の必要性などて、中標津署の小池地域課長は「さまざま現場の条件があり、一概応を決めることはでき」と語った。

標津町農林課林政・自然境担当の長田雅裕係長は「人身事故に至る前に、まずは人とクマとの距離をとる取り組みが不可欠」としつつ「偶発的なクマとの遭遇はいつでも起こりえるので、今後も警察や消防との連携強化を図りたい」と語った。

者を対象にした指導会議が開かれた＝写真＝。

安全操業は日ロの政府間協定に基づき、ロシア側に資源保護協力費を払う形で1998年に始まり、1月からのスケソウ刺し網漁と

が増加している。

会議には漁業者や同漁協職員をはじめ、水産庁、道水産会の担当者ら約30人が出席した。

同漁協の萬屋昭洋組合長は「ホッケ漁では11月末か

根室・太田さん姉妹表彰

近代五種　国際競技大会優秀者に

表彰状を手に喜ぶ姉の太田楓さん（右）と妹の捺さん

【根室】近代五種競技で活躍する根室スイミングクラブ所属の太田楓（かえで）さん（15）＝根室市立光洋中3年＝、捺（なつ）さん（13）＝同1年＝の姉妹が文部科学省から国際競技大会優秀者として表彰された。

昨年、ブルガリアで行われたユース世界選手権の女子リレーで優勝したことが評価された。

今回、表彰されたのはスポーツ功労者顕彰などを含めて741人、8団体。卓球の石川佳純選手やスピードスケートの高木美帆選手ら著名人が名を連ねている。

2人は「とてもうれしく光栄です。この賞に恥じないようにもっと強い選手になりたい」（楓さん）、「他の受賞者が有名な選手ばかりなのでびっくりしています。世界に通用する選手になって五輪メダリストを目指します」（捺さん）とコメントした。

今年11月に宇都宮市で行われた全日本選手権では楓さんが3位、馬術を除いた4種目の合計で争う日本代表選考で捺さんが最上位になった。捺さんは来年から代表選手としてW杯シリーズに参戦することが決まった。

（黒田理）

市総合文化会館で開かれた絵画コンテストの審査委員会

絵でもいきいき 根室の魚　こどもコンテスト

【根室】根室の海と魚をテーマにした「第2回おさかな大賞　根室こども絵画コンテスト」の審査委員会が22日、市総合文化会館で開かれた。最優秀賞（アンテナ賞）には、真っ赤な花咲ガニを描いた根室市の木村夢彪（ゆうと）ちゃん（5）の作品が選ばれた。

アンテナ・プレスクール（東京）が主催し、就学前の幼児を対象に作品を募集。全国から369点（根室市261点、根室市を除く道内8点、道外100点）が集まった。

審査委員会には全日空の井上慎一専務執行役員、アンテナ・プレスクール校の石井至校長、石垣雅敏根室市長ら8人が参加。「とげとげとしたカニの甲羅がよく表現できている」「おいしそうに描けている」などと講評し、9作品を選んだ。夢彪ちゃんのほか、市内からは特別賞（ANA賞）として飯沢叶匁（かなめ）ちゃん（6）の作品が選ばれた。

受賞者には今後、賞状と賞品を発送する。受賞作品は今後、市内の公共施設での展示を予定している。（武藤里美）

オー

別

【別海】新型コロナウイルス感染拡大の影響で忘年